

桜門ドイツ文学会だより

[2019年度の主な活動]

2019.03.09 理事会・総会・懇親会（日本大学会館 203 会議室）

（理事会：午後 2 時 30 分～午後 4 時 20 分、総会：午後 4 時 30 分～午後 5 時、出席者：理事会 11 名、総会 24 名）

【報告】

1. 2018 年度活動報告
2. 2018 年度会計報告
3. その他

（日本学術振興会からの通知）

【審議】

1. 会計監査の担当者について
2. 庶務委員の増員と分担について
3. 学会誌のインターネット上のコンテンツについて

〈懇親会〉

総会に引き続き、「だん家」にて和やかに懇親会が開かれた。
（午後 6 時～午後 8 時、参加者：25 名）

2019.06.01 第一回理事会（日本大学法学部 10 号館 1061 講堂）

（午後 3 時 30 分～午後 5 時 00 分）

【審議】

1. 2018 年度理事会・総会議事録の承認
2. 2019 年度各ブロック理事の承認：○真道杉・森田悟・岡本奈穂子・山崎明日香・須藤温子・田中徳一・柳武司（広報委員会委員長）・渡邊徳明・杉田芳樹（庶務委員会委員長）・三浦美紀子・及川晃希の諸氏 [○は理事長]
3. 2019 年度第 21 回研究発表会について
4. 2019 年度総会・理事会（懇親会）について
5. 『リユンコイス』第 53 号の編集・発刊について
6. その他

2019.09.06 第21回研究発表会（日本大学商学部本館31会議室）

（午後1時30分～午後5時30分）

【司会・開会の辞】真道 杉

【発表題目】

- ① ファティ・アキンにおける「故郷」について
及川 晃希
- ② ライプニッツの王子教育論におけるレトリック教育について
山崎明日香
- ③ 「ハイパーリアリズム」小説とは？
—Kathrin Schmidt: Kapoks Schwestern (2016) を例として—
寄川 真弓
- ④ ヤコービのスピノザ哲学
田中 光
- ⑤ Literaturwissenschaft とは何かⅡ
—ブレヒトの『ガリレオの生涯』(Leben des Galilei) をめぐって—
伊藤 卓立

【閉会の辞】保坂一夫

〈懇親会〉

研究発表会後、商学部近くのレストラン「モデラート」にて和やかに懇親会が開かれた。（午後6時～午後8時、参加者：17名）

2019.12.14 『リユンコイス』第53号第一回編集会議

（日本大学法学部10号館1031講堂）（午後1時～午後5時50分）

2020.02.15 『リユンコイス』第53号最終編集会議

（日本大学文理学部2号館2601・2602講堂）（午後1時～午後5時50分）

[会員の活躍情報]

秋元康隆著：『意志の倫理学——カントに学ぶ善への勇気』シリーズ〈哲学への扉〉（月曜社）

[ご寄付について]

2019年度に、野澤密孝様より当会に寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

桜門ドイツ文学会の発展にご尽力いただいた小林利裕先生と永口孝徳先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

(文責 真道杉)